

令和2年5月

各 位

八戸市東京事務所長

## 八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和2年5月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

八戸市が蕪島近くに建設後、新型コロナウイルス感染拡大の影響で開業を延期していた蕪島物産販売施設「かぶーにゃ」が5月11日にオープンしました。

地元の特産品、銘菓、水産加工品をはじめ、蕪島やウミネコにちなんだ土産品なども取りそろえているほか、鮫地区の生産者が持ち寄った野菜も販売しております。

地元の団体や事業者が立ち上げた「鮫蕪島物産販売合同会社」が運営しており、営業時間は午前10時～午後5時、冬季（11月～3月）は午後4時までとなっております。

◆「かぶーにゃ」の詳細はこちらをご覧ください（市ホームページ）

[https://www.city.hachinohe.aomori.jp/kanko\\_eventjoho/14307.html](https://www.city.hachinohe.aomori.jp/kanko_eventjoho/14307.html)

### ◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: [tokyo@city.hachinohe.aomori.jp](mailto:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp)

# 八戸 5月号 レポート

令和2年4月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

## 【行政】

記事	概要
(1)	八戸市保健所など市総合保健センターへの移転を延期
(2)	史跡根城 公有地拡大 第2次整備計画で方針
(3)	八戸市が独自の経済支援策を発表 飲食、宿泊業者などに20万円

## 【産業】

記事	概要
(4)	青銀とみち銀 服装を自由化
(5)	八戸毬姫牛デビューへ
(6)	サンデーがペット専門店の開設を計画 八戸で今秋オープン目指す
(7)	八戸商工会議所青年部 飲食業界を支援するプレミアム付きクーポン発行
(8)	八戸日本料理業芽生会 「出張レストラン」を企画
(9)	VISITはちのへ お取り寄せセットの販売開始
(10)	みしまバナナサイダー味を忠実再現 新キャンディ発売
(11)	「はちのへ中心蔵well」参加店の料理 タクシーでお届け

## 【地域】

記事	概要
(12)	千葉高看護専攻科生30人 国家試験全員合格
(13)	八戸市中心街の花小路完成
(14)	八工大生14人 国家資格の2級ガソリン自動車整備士試験 全員合格
(15)	千葉高消防クラブ 消防庁長官賞受賞
(16)	八戸市八日町の複合ビル 名称「デイルド」に

## 【文化・スポーツ】

記事	概要
(17)	米NBCスポーツ「最も偉大な五輪日本選手」特集で伊調馨を紹介
(18)	八戸三社大祭規模縮小 3神社の祭典のみ実施
(19)	八戸市の学童軟式野球チームがクラウドファンディングに挑戦

## 【行政】

記事	概要
(1)	<p><b>八戸市保健所など市総合保健センターへの移転を延期</b></p> <p>八戸市は4月21日、同市田向に整備中の「市総合保健センター」に6月1日から移転予定だった市保健所などについて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮し、移転を延期することを明らかにした。延期になるのは市保健所、こども家庭相談室、介護予防センターで、新型コロナウイルス感染症への対策に万全を期すため、当面は現在の市庁内で業務を継続する。休日夜間急病診療所と休日歯科診療所、こども支援センターは予定通り業務を開始する。</p>
(2)	<p><b>史跡根城 公有地拡大 第2次整備計画で方針</b></p> <p>国史跡に指定されている史跡根城跡について、八戸市は4月24日、「史跡根城跡第2次整備基本計画」の概要を説明し、史跡指定範囲のうち現在民有地となっているエリアを今後、段階的に公有地化していく方針を示した。現在は指定範囲18万3千平方メートルのうち、史跡根城の広場を含む13万4千平方メートルが公有化されている一方、広場の南側で、根城南部氏の家臣・岡前氏の旧館跡を含むエリアは民有地となっている。今後は5～20年後をめどに公有地化と発掘調査を順次進め、広場と一体化した整備を検討する予定。</p>
(3)	<p><b>八戸市が独自の経済支援策を発表 飲食、宿泊業者などに20万円</b></p> <p>八戸市は4月28日、新型コロナウイルスの感染拡大で地域経済に影響が出ていることを踏まえた市独自の経済支援策を発表。飲食、宿泊、タクシー、自動車運転代行業を営む市内の事業者に対し、売上げの減少幅などは考慮せず、申請があれば1事業者につき20万円の支援金を支給する。また、市内の事業者が「雇用調整助成金」を申請する場合の社会保険労務士の事務手数料を最大10万円補助する。いずれの申請も郵送で受け付ける考えで、支援金については早ければ5月中旬にも支給される見通し。</p>

## 【産業】

記事	概要
(4)	<p><b>青銀とみち銀 服装を自由化</b></p> <p>青森銀行とみちのく銀行は4月1日、職員の服装自由化を始めた。青銀では「A-biz (エービズ) スタイル」と名付けたドレスコードを設定し、制服だった女性はジャケットなどの私服で、男性の中にはジーンズにスニーカーの人もいた。一方、みち銀は4種類のドレスコードを設定し、業務内容に応じた服装を着用した。長年の慣習を見直すことで、活気ある職場をつくり、柔軟な発想を促すのが狙い。</p>
(5)	<p><b>八戸毬姫牛デビューへ</b></p> <p>八戸市市川町のイチカワファームが、自社ブランド牛「八戸毬姫牛 (まりひめうし)」のデビューに向け、準備を整えている。同社はこれまで、大手の預託を中心に約1200頭の肉牛を飼育してきたが、畜産業を取り巻く環境の変化を受け、「自分たちの牛で勝負しよう」と決断。昨年春に自社ブランド牛の生産を開始した。黒毛和種とホルスタインを掛け合わせた交雑牛のうち、雄よりも肉質が柔らかいとされる雌のみを扱い、八戸ワイナリーから出たブドウの絞りかすを与えるなど、地元色を打ち出し、秋の本格デビューを見据える。</p>

(6)	<p><b>サンデーがペット専門店の開設を計画 八戸で今秋オープン目指す</b></p> <p>東北地方でホームセンターを展開するサンデー（八戸市）は、八戸市城下4丁目に新業態となるペット専門店を開設する計画を明らかにした。ペットの販売に加え、アパレル、ドッグラン、写真スタジオ、病院部門など幅広いサービスを検討し、成長しているカテゴリーであるペット分野の総合サービスを手掛ける方針。今秋のオープンを目指す。</p>
(7)	<p><b>八戸商工会議所青年部 飲食業界を支援するプレミアム付きクーポン発行</b></p> <p>八戸商工会議所青年部は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で苦境に立たされている飲食業界を支援しようと、八戸市内の対象飲食店で使える「はちのへ支援クーポン」を発行した。販売額は1枚千円で、プレミアム付きとして1100円分使えるのが特長。使用期限は購入日から半年間に設定した。新型コロナウイルスの終息が見通せず、外出の自粛ムードが広がるが、「行きつけの店を応援したい」というニーズや「新型コロナウイルスの感染拡大が収まったら行きたい」といった声に応えた。</p>
(8)	<p><b>八戸日本料理業芽生会「出張レストラン」を企画</b></p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、青森県内の料理人で組織する「八戸日本料理業芽生会」は、利用者が自宅でレストランのようなサービスを楽しめる企画「出張レストラン」をスタートさせた。企画に参加した計9店舗の料理人が、自宅に向いて日本料理やすし、洋食、イタリア料理など幅広いジャンルの本格的なコース料理などを提供する。利用は原則2人以上で、所要時間は準備や後片付けを含め2時間半程度。1人当たり1万円（税・サービス料別）のAコース、1万5千円（同）のBコースのほか、オリジナルコースの相談にも応じる。出張先は八戸、青森両市内を基本に、その近隣地域にも対応する。</p>
(9)	<p><b>VISITはちのへ お取り寄せセットの販売開始</b></p> <p>八戸圏域版DMO（観光地域づくり推進法人）「VISIT（ビジット）はちのへ」は4月から、人気の八戸圏域商品を集めた詰め合わせセットのお取り寄せ販売をしている。「活動自粛が続く中でも八戸圏域の魅力を自宅で楽しんでほしい」と、昨年から練っていたお取り寄せ販売を予定を前倒ししてスタートさせた。販売しているのは、サバ缶食べ比べセット（税込み2900円）、にんにく満喫セット（同3200円）、おうちで乾杯セット（同3600円）の3種（全て別途送料が必要）。VISITはちのへのフェイスブックやInstagramで商品を紹介している。</p>
(10)	<p><b>みしまバナナサイダー味を忠実再現 新キャンディ発売</b></p> <p>菓子の企画販売を手掛ける北国さくら本舗（秋田市）は、八戸製氷冷蔵が販売する地サイダー「みしまバナナサイダー」とコラボレーションした「みしまバナナサイダーキャンディ」を開発した。八戸製氷が監修し、全国の地サイダーでも珍しいバナナ味や、サイダー独特のシユワツとした清涼感を再現した。1袋80グラム入り150円（税込み）で、スーパーのユニバース（八戸市）全店で4月27日に発売された。</p>

(11)	<p><b>「はちのへ中心蔵well」参加店の料理 タクシーでお届け</b></p> <p>新型コロナウイルス感染拡大による地域経済の停滞を受け、八戸市の情報季刊詩「はちのへ中心蔵well（ウェル）」を発刊する実行委員会は「頑張る飲食店応援プロジェクト」をスタートさせた。第1弾企画として、wellに参加する約30の飲食店の料理を三八五交通（八戸市）のタクシーが宅配するサービスを5月1日に開始。1店舗からの配達につき300円の料金で、タクシー運転手が商品を届ける。利用者はwellのホームページなどで商品を選び、専用ダイヤルに電話で注文する。商品代金と配達料金は届けにきたタクシー運転手に支払う。</p>
------	---

【地域】

記事	概要
(12)	<p><b>千葉高看護専攻科生30人 国家試験全員合格</b></p> <p>千葉学園高の看護専攻科をこの春に卒業した第14回生30人全員が、2月に行われた看護師国家試験に合格した。同校は、看護科3年と専攻科2年の5年一貫教育で看護師を育成。修了後に国家試験を受けることができ、通常よりも1年早く看護師になれる。特に専攻科2年目は、八戸市内での病院実習や就職活動などと並行して国家試験対策にも励むというハードな一年を過ごした。同校の合格率は2年連続で100%となった。</p>
(13)	<p><b>八戸市中心街の花小路完成</b></p> <p>八戸市三日町と六日町の間位置し、みろく横丁と交差する「花小路」の整備が終了し、4月16日に現地で竣工式が行われた。整備区間は約130メートル。通行の妨げになっていた段差を解消し、融雪装置付きのスロープを設置するなど利便性が大きく向上したほか、花壇も設けて景観にも配慮した。八日町方面から十三日町方向に通抜けられる花小路が快適な歩行空間として整備され、中心街の回遊性が高まることが期待される。</p>
(14)	<p><b>八工大生14人 国家資格の2級ガソリン自動車整備士試験 全員合格</b></p> <p>八戸工業大学の工学部機械工学科自動車工学コースの学生14人が、国家資格である2級ガソリン自動車整備士の登録試験で全員合格を果たした。合格率100%は8年連続。学生は、卒業研究を終えた今年2月に本格的な勉強を開始し、1日8時間にも及ぶ対策講習で知識を深めたほか、休み時間や講習修了後も分からないところを学生同士で教え合うなどして、一丸となって試験に臨んだ。2級ガソリン自動車整備士は、ガソリンエンジンで動く自動車の点検、分解のほとんどを行うことができる。</p>
(15)	<p><b>千葉高消防クラブ 消防庁長官賞受賞</b></p> <p>千葉学園高の消防クラブが、地域の防火防災意識を高めたとして、2019年度の消防庁長官賞を初めて受賞した。同クラブは2012年に創設され、毎年、全学科の1～3年生28人で活動している。同校は八戸市の繁華街に位置しており、たばこのポイ捨てなどが多いことから、学校周辺を清掃し、環境整備や火災対策に努めている。また、市内の防災イベントに積極的に参加し、心肺蘇生法を実演して市民へ周知するなど、地道な活動を続けてきた。初受賞を受け、4月14日にクラブ員代表3人らが八戸消防本部を訪ね、喜びを報告した。</p>

(16)	<p><b>八戸市八日町の複合ビル 名称「ディベルド」に</b></p> <p>八戸市八日町の旧長崎屋跡地の複合ビル（13階建て）建設計画で、事業主体「八日町プロジェクト」は4月27日、ビルの名称が「DEVELD（ディベルド）八日町」に決まったと発表した。発展や開発を意味する「デベロップメント」と、建物を表す「ビルディング」を組み合わせたもの。また、ディベルドはイタリア語で「楽しむ」、オランダ語で「開発」を意味し、「多くの人が行き交い、楽しみながら発展するシンボリックタワーとして愛される場所にしたい」との願いを込めた。ビルの1階にはタリーズコーヒー、金融機関のオフィスなどが入る予定。2～13階は分譲マンションで既に全57戸が完売。8月のオープンに向け、工事は最終段階に入っている。</p>
------	--

【文化・スポーツ】

記事	概要
(17)	<p><b>米NBCスポーツ「最も偉大な五輪日本選手」特集で伊調馨を紹介</b></p> <p>「日本の最も偉大なオリンピックは誰だ？」と、東京五輪の開催国の選手に注目した特集記事を、米NBCスポーツ（電子版）がこのほど掲載した。紹介された6人の中にレスリング女子の伊調馨（八戸市出身、ALSOK）も含まれ、達成した4連覇が全競技を通じて女子個人種目初の偉業だったことを伝えた。他に選出されたのは、フィギュアスケート男子の羽生結弦（ANA）、体操男子の加藤沢男氏、内村航平（リンガーハット）、競泳男子の北島康介氏、柔道男子の野村忠宏氏。</p>
(18)	<p><b>八戸三社大祭規模縮小 3神社の祭典のみ実施</b></p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大を受け、八戸三社大祭運営委員会は4月17日に全体会議を開き、今年の三社大祭（7月31日～8月4日）は、規模を縮小し、神社行列や山車の合同運行を取りやめる方針を決めた。前夜祭と後夜祭の山車展示、中日の夜間山車運行も開催を見送る。また、長者山新羅神社で中日に行われる伝統武技の加賀美流騎馬打毬、市庁前市民広場を会場とした「おまつり広場」（8月2～4日）も実施しない。一方、三社大祭は今年で発祥300年の節目を迎える伝統の神事であり、籠（おがみ）、長者山新羅、神明宮の3神社の祭典は境内で執り行うが、いずれも人数を制限し、関係者のみの参加とする。</p>
(19)	<p><b>八戸市の学童軟式野球チームがクラウドファンディングに挑戦</b></p> <p>八戸市の学童軟式野球チーム「八戸ダイヤモンドキッズ」が、クラウドファンディング（CF）に挑戦している。チームは昨年4月に発足し、「子どもファースト」を理念として掲げ、子どもの自主性を尊重した指導や、保護者の負担軽減を図るため父母会設置を禁止するなど、独自の取り組みを展開。昨季は練習場所の確保だけで約100万円の費用がかかったため、保護者の負担を増やすことなく、練習場所の借用費などを捻出するとともに、チームの存在や理念を周知して賛同者を増やしたいとの思いから、CFに挑戦することにした。支援者には、金額に応じてチームオリジナルのポストカードやTシャツなどを進呈。目標金額は70万円としている。</p>